

事務事業名	龍頭八重滝県立自然公園管理事業	所属部	掛合総合センター	所属課	事業管理課
政策名	(V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G	産業振興グループ	課長名	神田直人
施策名	(35)観光の振興	担当者名	菅澤直樹	電話番号	0854-62-0300
目的	対 象 市外の人	意 図	A)雲南市を訪れてもらう。B)市内で消費してもらう。	(内線)	4506
基本事業名	(105)受け地づくりの推進	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 3 5 0 1 項 目 中事業 中事業名 0 5 2 0 2 8	観光施設管理事業 龍頭八重滝自然公園管理事業	
目的	対 象 市外の人	意 図	受け入れる。		

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 龍頭八重滝県立自然公園の施設管理 龍頭が滝は松笠振興協議会へ管理委託 八重滝は入間コミュニティー協議会へ管理委託 施設概要:遊歩道、公衆トイレ、休憩所、東屋、駐車場等

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動) 龍頭が滝・八重滝の施設管理業務 龍頭が滝遊歩道木製階段改修工事 龍頭が滝休憩所水道管接続工事 八重滝遊歩道転落防止柵修繕工事 八重滝遊歩道橋(滝尻橋)改修工事 龍頭が滝公園の案内看板整備工事 施設修繕	25年度計画(25年度に計画する主な活動) 龍頭が滝・八重滝の施設管理業務 八重滝公園内の案内看板修繕			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
ア	修繕回数	箇所	8	5	6	3
イ						
ウ						
エ						

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	観光客	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア	入園者数	人	57,640	74,350	78,050	80,000	
イ								
ウ								
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	観光客数の増大を図る。	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
ア		増加した観光客数	人	5,290	16,710	3,700	1,950	
イ								
ウ								

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳(24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
龍頭が滝・八重滝の施設管理委託費: 683千円 龍頭が滝遊歩道木製階段改修費: 2,216千円 龍頭が滝休憩所水道管接続費: 2,426千円 八重滝遊歩道転落防止柵修繕費: 1,953千円 八重滝遊歩道橋(滝尻橋)改修費: 2,441千円 龍頭が滝公園の案内看板整備費: 859千円 施設修繕費: 90千円 光熱水費: 147千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	881	1,246	10,815	1,386
	事業費計(A)	千円	881	1,246	10,815	1,386
	正規職員従事人数	人	3	12	1	
	延べ業務時間	時間	128	512	30	
	人件費計(B)	千円	498	2,018	118	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,379	3,264	10,933	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
公園内の草刈りやトイレ等の清掃は、地域自主組織(地元自治会)へ管理委託をしているが、近年高齢化が進み、滝に精通し細やかな管理していただける方が少なくなった。	平成21年1月の雪害による公園内の倒木処理や遊歩道の修繕を平成22年度に行った。 平成25年度は、龍頭が滝の遊歩道木製階段の改修、休憩所への水道管接続や案内看板の整備を行った。また八重滝の遊歩道橋と転落防止柵を改修を行った。	遊歩道やトイレ等の施設の老朽化により、改修の要望があっている。

事務事業名	龍頭八重滝県立自然公園管理事業	所属部	掛合総合センター	所属課	事業管理課
-------	-----------------	-----	----------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																			
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？																				
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？																				
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																			
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																				
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	遊歩道等が老朽化しているため、観光客の安全を考慮し、修繕や改修を必要とする。																		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない																				
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	龍頭が滝、八重滝は掛合町の代表的な観光施設である。																	
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																				
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由																		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	滝(県立自然公園)の管理のため、他に類似事業がない。																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない																				
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	既に、地域自主組織(松笠振興協議会、入間コミュニティ協議会)へ管理委託しており、委託料の削減は難しい。																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																				
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由																		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	既に、地域自主組織(松笠振興協議会、入間コミュニティ協議会)へ管理委託しており、委託料の削減は難しい。																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																				
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由																		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	受益者負担はなく、公共施設として公平に管理が出来ているので、見直す必要はない。																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である																				
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																		
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)			<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上		●	維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上		●																		
	維持		×																		
	低下	×	×																		
今後も施設の老朽化は進行していく為、小さな修繕ではなく、大規模な遊歩道の整備や施設改修が必要である。			<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		

3 今後の方向性【PLAN】